



# MMWIN みんなのみやぎネット

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために

Vol. 02

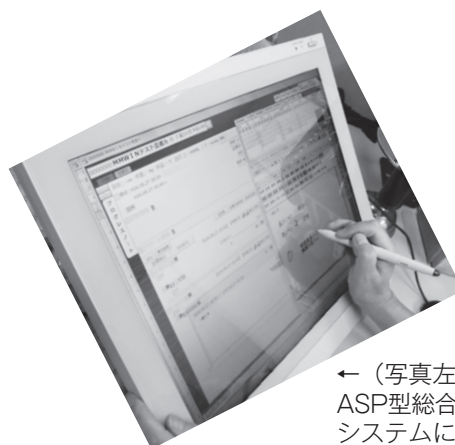
MMWINみんなのみやぎネットは、より効率的で、質の高い医療・介護の実現のため、病院、診療所、薬局、介護施設、訪問看護ステーションなどの、施設間で、患者さんの医療情報・介護情報・調剤情報などを情報連携するためのネットワークです。本日は、「ASP型総合診療支援システム」と「臨床連携パスシステム」をご紹介します。

## ASP型総合診療支援システム

今まで電子カルテを使用されていない施設の皆様にも、この「ASP型総合診療支援システム」を導入いただければ、電子カルテ機能を使用可能です。

「ASP型総合診療支援システム」では、電子カルテ用に新たに院内サーバーを導入・設置する必要はありません。また、自動的に診療データ類を遠隔保存することが可能です。災害時には、使用可能なPCとネットワーク環境があれば、保存されたデータを参照、活用して、医療活動を継続することが可能です。ボタン操作や手書き入力など、優れた操作性を持ち、患者さんと会話をしながらの操作も可能です。

更に、薬や処置など入力した情報により、受付では自動的に会計情報として出力され、患者さんの待ち時間も短くなります。



← (写真左)  
ASP型総合診療支援システムによる、手書き入力操作

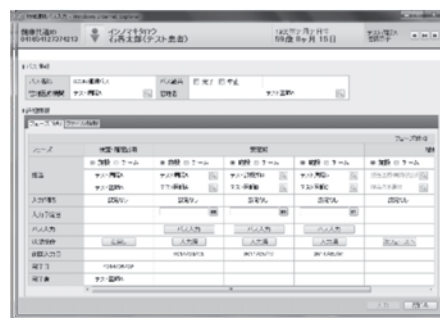
## 臨床連携パスシステム

「臨床連携パスシステム」は、既に稼働している、疾患ごとの地域医療連携パスや、各地域の情報共有の仕組みをMMWINみんなのみやぎネットシステム上で共有可能にします。

ひとりの患者さんを支える複数施設間で、最新の状態管理やタイムリーな情報連携が可能となります。また、転院（紹介）支援機能により、スピーディーな転院（紹介）処理を可能にします。

このシステムでは、共有する情報項目の選定や入力画面のカスタマイズが可能です。

現在、このシステムを使い、従来病院や診療所で紙ベースで運用されていた石巻地区COPD（慢性閉塞性肺疾患）連携パスを電子ネットワーク化する試みが始まっております。



↑  
臨床連携パス画面

## 県南・県北圏の皆様へ

平成26年度補助金による構築に向け、急ぎご検討、ご決断いただき、ありがとうございました。お申込みいただいた施設の皆様には、導入設置場所やスケジュールのお打合せ等につき、当協議会より、追って、ご連絡申し上げます。引き続き、御協力、よろしくお願い申し上げます。

今回は、薬局、介護施設や、訪問看護ステーションでご活用いただける機能についてご紹介いたします。

お問合せ先：

(一社)みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会  
 仙台市青葉区中央3-10-19 仙台KYビル7階（一時移転先）  
 【事務局TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp